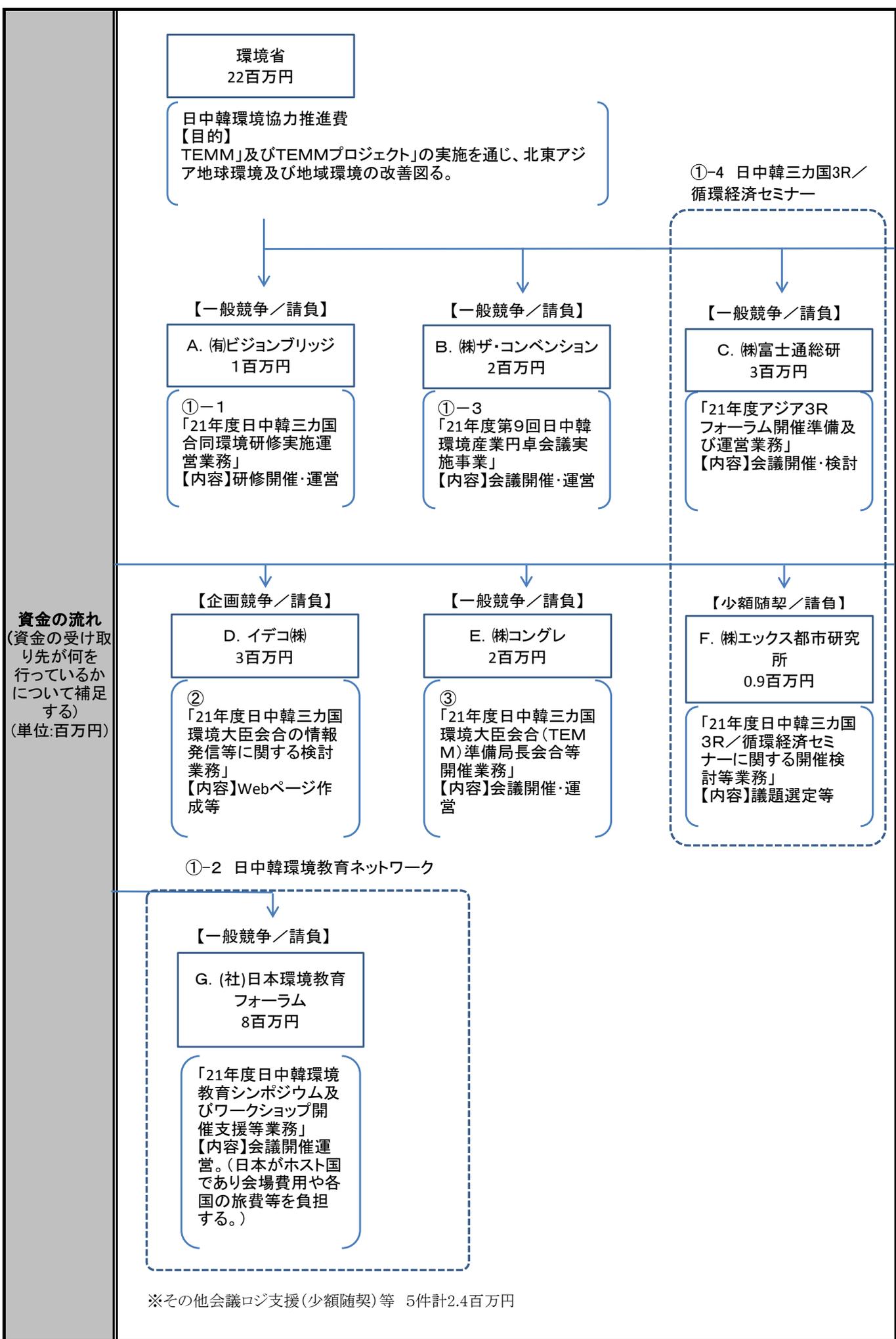


行政事業レビューシート (環境省)						
予算事業名	日中韓環境協力推進費		事業開始年度	平成10年度	作成責任者	
担当部局庁	地球環境局		担当課室	環境協力室	室長 大村卓	
会計区分	一般会計		上位政策	地球環境の保全		
根拠法令 (具体的な 条項も記載)	—		関係する計 画、通知等	—		
事業の目的 (目指す姿を 簡潔に。3行程 度以内)	日中韓三カ国の環境大臣の間で、北東アジアや地球規模の環境問題に関する対話(日中三カ国環境大会合(以下、「TEMM」)、その対話に基づいた三カ国共同の協力プロジェクト(以下、「TEMMプロジェクト」)実施を通じ、北東アジア地球環境及び地域環境の改善を目的とする。					
事業概要 (5行程度以 内。別添可)	<p>①日中韓環境大臣会合で同意されたTEMMプロジェクトのうち、「①-1 日中韓合同環境研修」「①-2 日中韓環境教育ネットワーク」「①-3 環境産業円卓会議」「①-4 日中韓三カ国3R/循環経済セミナー」を実施する。</p> <p>②TEMMプロジェクト等の進捗状況等を情報発信するため、パンフレットやウェブページのデザインを活用する。「②TEMM情報発信」。</p> <p>③平成22年度大臣会合のための準備として局長会合を実施する(「③TEMM準備」)。</p>					
実施状況	<p>■日中韓三カ国環境大臣会合は、平成11年以降毎年、三カ国が交代で開催しており、TEMMプロジェクトも平成11年以降実施してきているもの。平成21年度については、三カ国合意に基づき、着実な実施を行った。</p> <p>■このように協力の実績を積み上げることで三カ国相互の理解力が深まり、パイプが太くなり、北東アジアの環境改善に前進が見られている。大臣会合の指示でもあり次年度も継続して実施する予定。</p>					
予算の状況 (単位:百万円)		19年度	20年度	21年度	22年度	23年度要求
	予算額(補正後)	51	40	44	74	—
	執行額	51	29	22		
	執行率	100%	73%	50%		
	総事業費(執行ベース)	51	29	22		
自己点検	支出先・ 用途の 把握水 準・状況	<p>■日中韓環境大臣会合下にあるTEMMプロジェクトへの実施が主要な支出となっており、多くは、国際会議(セミナーやワークショップ)開催のための運営費用として、一般競争入札等で落札した会議運営業者へ支出を行っている。入札にあたり、仕様書に業務内容を限定列挙しているため、十分に実施内容を確認できる状況にある。</p> <p>■また、請負業者とは連絡を密にし、国際会議等の現場での指導監督を行っている。</p>				

	見直しの余地	<p>■第2回日中韓首脳会合で日中韓環境大臣会合に対し、環境に関する三カ国の共同行動計画(既存及び新規のTEMMプロジェクトが計画の中心となる予定)の策定を指示したことや、「東アジア共同体」など、東アジア重視という政策の下、環境分野における日中韓の協力関係は、更に協力を強化することが求められており、その方向での見直しは随時必要であると考えられる。</p> <p>■TEMMプロジェクトは、日中韓環境大臣会合での合意の下、各国が持ち回り開催と応分の負担を行うことが原則となっており、協力関係を縮小することは困難な状況にあるが、現状の水準を維持しつつ、より効果的・効率的な実施を工夫する。</p> <p>■23年度概算要求においては、個別TEMMプロジェクトは原則として所管課室から要求を行うこととし、当室からはTEMMの全体把握及び横断的なTEMMプロジェクトについての要求に限ることを目指す。</p> <p>また、「(小々事項)日中韓環境協力推進費」を、別シートの「(小々事項)クリーンアジア・イニシアティブ推進費」、「(小事項)日中環境協力推進費」と統合し、「東アジア共同体構築に向けた環境協力推進費」として一体的な要求を行うことにより、①それぞれの枠組みにおいて得られる情報を相互にフィードバックする、②得られた情報に基づき新規協力案件の発掘を行う、③予算の重複を避けるなど、東アジア共同体構築に向け各枠組みの連携した取組を強化等することで、業務面及び予算面でのより効果的・効率的な実施に努める。また、成果を当省HPに掲載する等普及啓発に努める。</p>
予算監視の所見・効率化チーム	抜本的改善	(別シート番号25の「クリーンアジア・イニシアティブ推進費」、別シート番号23中の「日中環境推進費」と整理統合し、効率的な事業実施に努めるべき。)
補記		



資金の流れ  
(資金の受け取り先が何を  
行っているかについて補足  
する)  
(単位:百万円)

費目・使途  
 (「資金の流れ」においてブ  
 ロックごとに最大の金額が支  
 出されている者について記  
 載する。使途と  
 費目の双方で  
 実情が分かる  
 ように記載)

A. (有)ビジョンブリッジ			E. (株)コングレ		
費目	使途	金額 (百万円)	費目	使途	金額 (百万円)
雑役務費	日中韓三カ国合同環境研修実 施運営費	1	雑役務費	日中韓三カ国環境大臣会合(T EMM)準備局長会合等開催業 務費	1
計		1	計		1
B.(株)ザ・コンベンション			F. (株)エックス都市研究所		
費目	使途	金額 (百万円)	費目	使途	金額 (百万円)
雑役務費	第9回日中韓環境産業円卓会 議実施事業費	2	雑役務費	日中韓三カ国3R/循環経済セ ミナーに関する開催検討等業務 費	0.9
計		2	計		0.9
C.(株)富士通総研			G. (社)日本環境教育フォーラム		
費目	使途	金額 (百万円)	費目	使途	金額 (百万円)
雑役務費	アジア3Rフォーラム開催準備 及び運営費	3	雑役務費	日中韓環境教育シンポジウム 及びワークショップ開催支援等 業務費	8
計		3	計		8
D.イデコ(株)					
費目	使途	金額 (百万円)	費目	使途	金額 (百万円)
雑役務費	日中韓三カ国環境大臣会合の 情報発信等に関する検討業務 費	3			
計		3	計		0